

松山小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・当校は、「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成」を学校理念としており、子どもたちに社会性の基礎となる力と問題解決的な学習を基盤とした確かな学力を育成することを重点目標に、教育活動に取り組んでいる。
- ・特に総合的な学習と生活科では、ESDを一番身近な「自分たちが住む町の文化や人とのつながりを見つめる場」と捉え、ESDの実践を通して地域を愛する心と自分にできることを実践していく力の育成を目標とした。
- ・総合的な学習を柱に、各教科・領域と関連付けながら①地域の伝統や文化に係わる学習、②防災に係わる学習、③福祉に係わる学習、④地域に係わる学習を行っている。

・活動の実際

① 地域の伝統や文化にかかわる学習

3年生の総合的な学習では、「わっしょい松山」をテーマに取り組んだ。祇園祭の学習では、奉賛会の方から、手筒花火にかける思いや願いを聞いた。祭りに関わる人々の伝統を守ろうという思いにふれ、自分たちの積極的なかわりが、伝統を守ることに繋がると気づいた。また、より多くの人に知ってもらうことが盛り上がりにつながると考え、祭りの魅力を伝える方法を考えることができた。



『わっしょい松山』ゲストティーチャーから手筒花火のことを学ぶ子どもたち

② 地域にかかわる学習

6年生の総合的な学習では、「松山 BIG SMILE 大作戦～松山校区を盛り上げよう」をテーマに取り組んだ。校区主催の「まちなかフェスティバル」の運営に携わるゲストティーチャーの話を聞いたり、実際に自分たちも運営側で参加したりしたことで、松山校区をもっと盛り上げたいという思いを高めていった。2月には、全校児童や地域の人を招待し、「松山フェスティバル」を開くことができた。



『松山 BIG SMILE 大作戦』で、みんなを楽しませる子どもたち

③ 福祉にかかわる学習

4年生の総合的な学習では、「ハートフル松山～みんなにやさしい町」をテーマに取り組んだ。校区探検でスロープや点字ブロックの状況を調査し、福祉に興味をもった子どもたちは、盲人ガイドヘルプ体験や、車椅子体験をする中で学びを深めていった。自分たちにできる福祉活動を考え、実践していこうという思いを高めた。



『ハートフル松山～みんなにやさしい町』ガイドヘルプ体験をする子どもたち

④ 地域にかかわる学習

2年生の生活科の学習では、「だいすき松山」をテーマに取り組んだ。「大豊商店街」を繰り返し探検し、店の人や客とかわることで、地域の人々の思いや温かさを感じ、その魅力に気づいた。大豊商店街に昔のような賑わいが戻ってきてほしいと考えた子どもたちは、そのよさを身近な人に広めたいという思いをもち、ポスターやコマーシャルを作成した。子どもたちは、「自分のまちが大好き」という思いを高めた。



『松山だいすき』大豊商店街のお店の中を見学する子どもたち